平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語5(English 5)【吉川クラス】			授業コード	A027903
担当教員名	吉川 知子		科目ナンバリン グコード	A30309	
配当学年	3	開講期	前期		
必修•選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	修生は全てプレースメントテスト(レベ) 講義に出席する。	レチェックテスト)を受	験しその	スコアに従って	決められた
受講心得	講義スタイルではなくタスクを実際に行評価も参加意欲に重点を置いている。	うことにより進んでし	V 万 業ス・	タイル。毎回完	全参加型で
教科書					
参考文献及び指定 図書					
関連科目					

授業の目的	英語1から4までで学んだ文法知識を生かし、英作文をすること。更にアウトプットとして英語でのプレゼンテーションができるようになる。
授業の概要	自分の考えを英作文し、プレゼンテーションする。その仕方、リサーチの方法等も学んでいく。 各々で作文に取り掛かり、読み方(発音)練習や発表態度などにも留意しながら練習する。反省、 自己評価などでより良いものを作り直す方法を学ぶ。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週:	
Placement Test	
第2週:	
英語5の受講心得等の説明など。自己紹介	
第 3 週: Week 1 How to give a speech	
出身地の紹介 / 良いプレゼンテーションとは?基礎 / 英文の構成 / Self Introduction	
第 4 週:Week 2 How to give a speech 2	
好きなーの紹介 / 英文の構成 / Self Introduction	
第 5 週:Week 3 Introducing Someone	
理想のプレゼンテーション / 英文の構成 / 正しい評価の仕方	
第 6 週:Week 4 Introducing Someone 2	
3, 4, 5週目の中からもう一度テーマを選びプレゼンテーション発表1	
第 7 週: Week 5 Demopnstraton	
表現を身につける gestures / 発表の反省、評価 / ディスカッション	
第8週:Week 6 Demonstration 2	
Demonstration / Gestures	
盆 0 間 - W 	
第 9 週:Week 7 Layout Speech	

Layout / how to structure speech				
第10週:Week 8 Layout Speech 2				
7、8、9週目の中か	らもう一度テーマを選びプレゼンテー	ション発表2		
第11週:Week 9 S	how and Tell			
Present some data	to audience / プレゼンテーション大会	☆準備 クラス内準備		
第12週:Week 10	第12週:Week 10 Show and Tell 2			
Enphasizer words /	プレゼンテーション大会準備 クラス	内準備		
第13週: Week 11 Presentation Practise				
プレゼンテーション	大会予選 / 準備			
第14週:				
	大会(他クラスとのスケジュール調整に 義内で合同発表会)	こより日付を決定します。第14	1	
第15週:				
	大会(他クラスとのスケジュール調整に 義内で合同発表会)	こより日付を決定します。第14	1	
第16週:期末試験				
	(1)授業の形式	「演習等形式」		
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式			
	(3)アクティブ・ラーニング			
地域志向科目		·		
備考				

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	問題や改善点を積極的に訂正できる	
【知識・理解】	講義内で学んだものを定着させる。	
【技能・表現・コミュニ ケーション】	わかる、わからないなどの意思表示、積極的な質問等でコミュニケーションを図る。	
【思考·判断·創 造】	自主的に考えそれを他の学生とシェアする。	

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他(無形成果)	
【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。		10点	50	点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含 む。	20点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			10	点

【 心名・刊町・創垣】 ※「考え抜くカ」を含む。

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安			
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安		
レポート・作品等 (提出物)			
発表・その他 (無形成果)	講義に積極的に参加し、基本的に毎回講義に出席、発言。各プレゼンテーションへの取り組む姿勢。		